

4 コミュニティ・スクールのセカンドステージ

(1) 目標

- ① 学校運営協議会の「質の向上」
- ② 「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な推進

(2) 学校運営協議会の充実

【各学校運営協議会の取組】

① 学校教育目標の達成を目指す

PDCAサイクルの構築

- 「熟議・協議」の充実
 - ・協議・熟議の目的や方向性の共通理解
 - ・わかりやすい資料の作成や資料の精選
 - ・事前の資料提供、内容の焦点化・明確化
 - ・委員全員が意見を言える場の設定
- 取組に対する評価・課題改善の工夫
 - ・授業参観や協働活動等における現状把握
 - ・学校評価やアンケート結果等の客観的なデータ
 - ・取組の成果やさらなる課題改善に向けた協議
- 教職員との連携・交流・意識改革
 - ・支援→協働へとつながる関係づくり、意識改革
 - ・学習支援活動や合同研修会、意見交流会での交流

② 委員が「やりがい」を感じられる

協議会への転換

- チーム学校の一員として
 - ・学校運営に参画する当事者としての意識の醸成
 - ・教職員への紹介、学校要覧やHPへの掲載
 - ・教職員、保護者、地域への「学校運営協議会」の役割や取組の紹介
- 委員の達成感、自己有用感の醸成
 - ・一人ひとりが活発に思いを語れる協議会
 - ・協議や取組の成果の適切なフィードバック
 - ・子どもたちの成長が実感できる場面の創出
- 持続可能な組織体制の構築
 - ・学校運営協議会委員構成の検討、人材の確保
 - ・CS地域コーディネーターの活用

③ 「地域学校協働活動」との一体的推進

- 地域と学校を繋ぐ体制の構築
 - ・学校運営協議会への「地域学校協働推進員」の配置
 - ・学校支援ボランティアとの効果的な連携と人材の確保
- 「地域学校協働活動」に係る協議の充実
 - ・「地域学校協働活動」における目的やビジョンの共有
 - ・学校課題やニーズに即した学習支援・体験活動等の実施

学校・保護者・地域の
真ん中に子どもたちの
未来の姿を



【伊丹市教育委員会の取組】

① 情報交換の場の設定

(情報交換、実践発表)

- ・「推進協議会」(対象:各会長)
- ・「拡大推進協議会」(対象:各会長、管理職)
- ・「CS地域コーディネーター研修会」

② 研修の場の設定(実践発表、講話等)

- ・「コミュニティ・スクール研修会」
- ・「コミュニティ・スクールフォーラム」
- ・教職員向け研修会の実施

③ アンケートの実施や指導主事の参加等による実態把握及び課題検証

本件問合せ先 : 伊丹市教育委員会事務局学校指導課
Tel 072-780-3534 Fax 072-784-8083 E-mail gakkyou@itami.ed.jp

コミュニティ・スクールの充実

～学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進～

令和5年(2023年)5月
伊丹市教育委員会

1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは

「学校運営協議会」を設置している学校

伊丹市 : 令和2年度に小・中・高等・特別支援学校 全27校に設置を完了

学校運営協議会の4つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営への必要な支援に関する協議を行うこと
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会で定める事項(※1)について意見を述べるができること

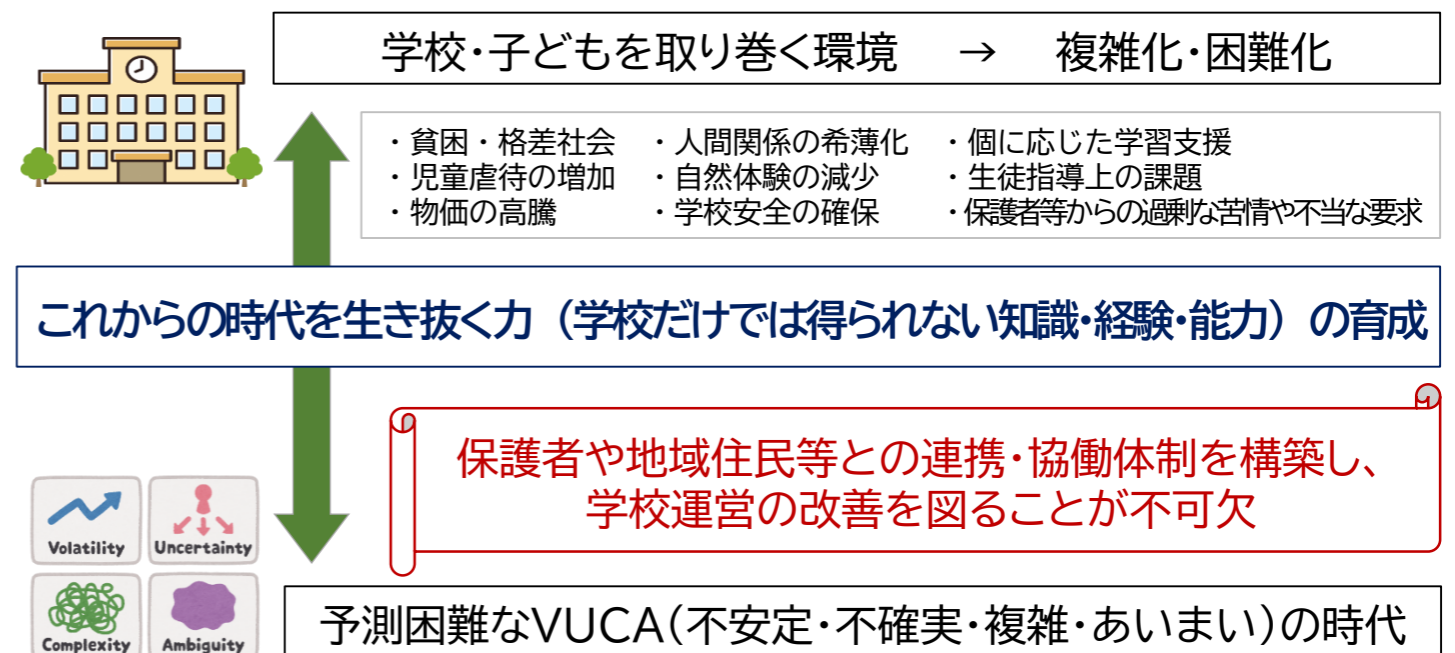
※1 採用・昇任・転任について、個人を特定することはできない

学校運営協議会の委員構成

- 保護者 ○ 地域住民 ○ 地域学校協働活動推進員、その他学校運営に資する活動を行う者
- 教職員 ○ その他教育委員会が必要と認める者

保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、
「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み

2 なぜコミュニティ・スクールなのか



3 伊丹市のコミュニティ・スクールの現状

(1) 令和4年度(2022年度)学校運営協議会アンケートより

- 実施時期 令和4年11月末～12月中旬
- 対象 各学校運営協議会会長(27協議会)、各小・中・高等特別支援学校長(27校)

<成果>

【会長アンケートより】

質問内容	R4		R3	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営や学校運営に必要な支援について十分な熟議ができたと感じているか	88.9%	11.1%	83.3%	16.7%
子どもたちの安全・安心な環境がより確保できた	77.8%	22.2%	70.8%	29.2%
特色ある学校作りが進んだ	66.7%	33.3%	54.2%	45.8%
学校運営協議会の取組はやりがいや誇りがある	81.5%	18.5%	79.2%	20.8%
教育活動に関する協議ができた	77.8%	22.2%	62.5%	37.5%

【校長アンケートより】

質問内容	R4		R3	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営や学校運営に必要な支援について十分な熟議ができたと感じているか	92.6%	7.4%	96.3%	3.7%
子どもたちの安全・安心な環境がより確保できた	92.6%	7.4%	81.5%	18.5%
特色ある学校作りが進んだ	92.6%	7.4%	74.1%	25.9%
学校と地域が情報共有ようになった	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
学校に対する保護者、地域の理解が深まった	96.3%	3.7%	85.2%	14.8%

<課題>

【会長アンケートより】

質問内容	R4		R3	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営協議会の協議により、地域学校協働活動の人材確保につながった	37.0%	63.0%	41.7%	58.3%
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	37.0%	63.0%	16.7%	79.2%
地域が活性化した	37.0%	63.0%	29.2%	66.7%
学校や地域の課題について、解決策が見いだせた	48.1%	51.9%	37.5%	62.5%
地域学校協働活動についての協議ができた	48.1%	51.9%	58.3%	41.7%

【校長アンケートより】

質問内容	R4		R3	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営協議会の協議により、地域学校協働活動の人材確保につながった	55.6%	44.4%	55.6%	44.4%
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	66.7%	33.3%	48.1%	51.9%
教職員の業務改善につながった	55.6%	44.4%	66.7%	33.3%
生徒指導・生活指導面での課題解決につながった	55.6%	44.4%	63.0%	37.0%
学校運営協議会の協議が、地域学校協働活動の新たな取組や充実につながった	63.0%	37.0%	63.0%	37.0%

<令和3年度から大きく改善したもの>

【会長アンケートより】

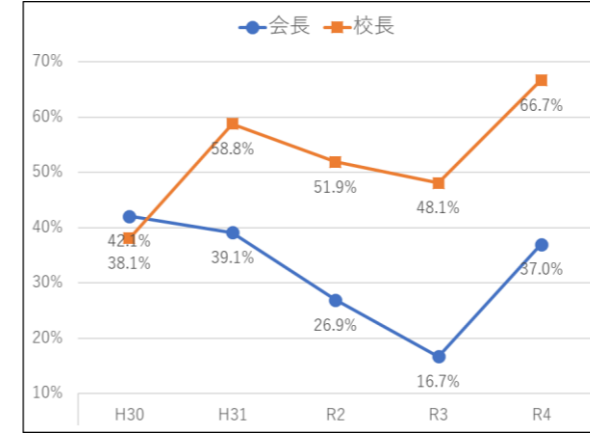
質問内容	R4	R3	差
	肯定的回答	肯定的回答	
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	37.0%	16.7%	+20.3%
教職員と話す機会が増えた	55.6%	33.3%	+22.3%
教育活動に関する協議ができた	77.8%	62.5%	+15.3%
子どもたちへの学習支援が充実した	55.6%	41.7%	+13.9%
生徒指導・生活指導に関する協議ができた	59.3%	45.8%	+13.5%

【校長アンケートより】

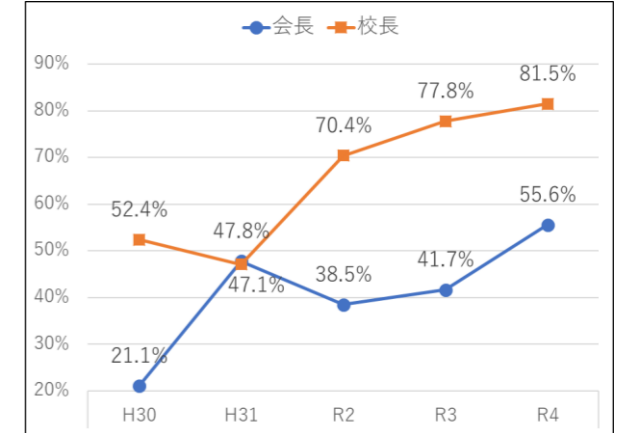
質問内容	R4	R3	差
	肯定的回答	肯定的回答	
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	66.7%	48.1%	+18.6%
特色ある学校作りが進んだ	92.6%	74.1%	+18.5%
子どもたちの安全・安心な環境がより確保できた	92.6%	81.5%	+11.1%
学校に対する保護者・地域の理解が深まった	96.3%	85.2%	+11.1%

(2) 過去5年間における経年比較

学校行事への地域や保護者の参加が増えた

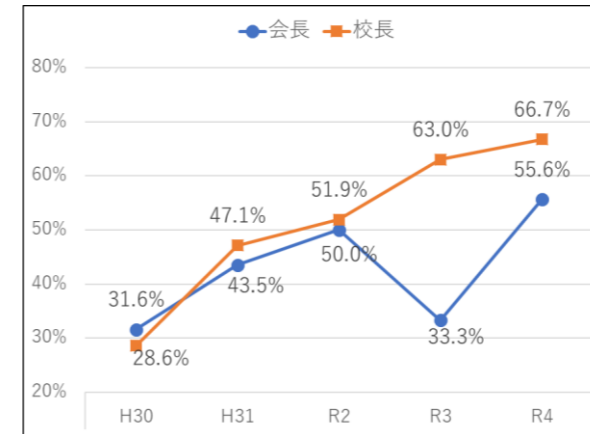


子どもたちへの学習支援が充実した

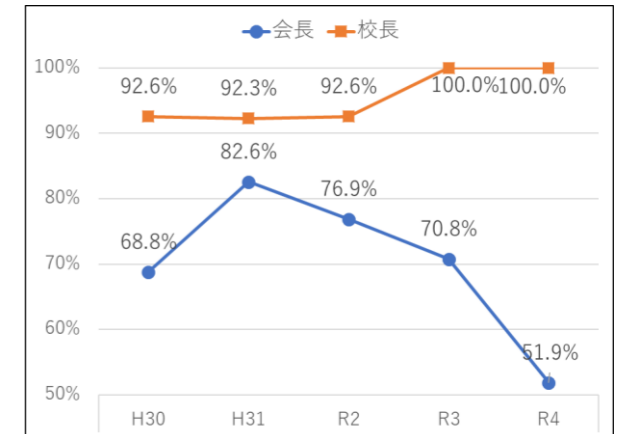


コロナ禍で見合わせていた授業参観や学校行事等が再開し、学習支援や生活指導上の課題等で具体的な協議・活動が進み、取組が活性化した。

会長:教職員と話す機会が増えた
校長:教職員の意識改革が進んだ



学校と地域が情報共有ようになった



令和3年度の重点課題であった教職員との連携について、改善が見られるが、学校と地域の情報共有への意識について差が生じている。引き続き、教職員との連携や情報共有・発信の在り方について、意識改革を図る。

(3) 課題と感じていること【自由記述欄より】

<会長アンケートより>

- ① 人材確保 (持続可能な体制づくり)
- ② 教職員との交流・連携
- ③ 情報発信、情報共有

その他
・会議の進め方
・やるべきことの明確化
・学校課題への突っ込んだ議論 等

<校長アンケートより>

- ① 人材確保
- ② 教職員との連携・共有

その他
・会議の活性化
・目指す方向性の共有
・活動拠点にできる部屋の確保
・事務手続きの多さ
・時間の確保、計画的な開催 等

具体的な協働活動を実施するために、活動ボランティア等の人材確保とともに、地域学校協働活動との連携が必要。

